

議会だより

2022年 8 月 北海道中川郡豊頃町議会発行
議会広報特別委員会編集



6月定例会

第2回定例会は、6月8日から開会され、町長から提案のあった補正予算など13議案をいずれも原案どおり可決し、13日に一般質問等を行って閉会しました。

補正 予算

補正予算の主なもの

◆町内宿泊施設利活用 可能性調査業務

450万円

町で所有する宿泊施設が老朽化により改修が多くなっていることから、今後の施設の在り方について検討するための調査に係る予算

◆二酸化炭素排出量等 調査業務

180万円

豊頃町における「カーボンニュートラル」「脱炭素社会」の達成に向けた取組を検討するため、町の二酸化炭素排出量等の現状を把握するための調査に係る予算

◆豊頃愛生協会新型コロナ ウィルス感染症対策事業 補助金

500万円

豊頃愛生協会における、新型コロナウィルス感染症対策事業実施に係る補助金

◆豊頃愛生協会介護ソフト 導入事業補助金

450万円

豊頃愛生協会において、新たに介護ソフトを導入するための補助金

◆緊急漁業支援対策交付金

518万円

昨年大津地区で発生した赤潮による被害に対する支援を行うため、北海道におけるふるさと納税の本町への交付分278万3千円を合わせた交付金

◆道路橋梁維持補修工事費

1360万円

幌岡17号線横断管改修工事、二宮西4号支線舗装工事ほか3工事に係る予算

◆トンケシ緊急避難場所 避難路改良工事

3900万円

トンケシ緊急避難場所に向かう避難路が急勾配でかつ、路盤が痛んでおり、有事の際の避難時に支障をきたすことから、傾斜を緩やかにし速やかに避難できるよう施工する改良工事

会計名	補正額	総額
一般会計(第1号)	7,922万円	65億5,722万円
国民健康保険特別会計(第1号)	100万円	5億8,211万円
簡易水道特別会計(第1号)	230万円	3億6,439万円
公共下水道特別会計(第1号)	950万円	2億7,457万円

※表示の金額は、1万円未満を四捨五入しています。

【 条 例 改 正 】

▼ 豊頃町過疎地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正
 租税特別措置法改正に伴う条例の頂ずれを整備するもの。

▼ 豊頃町国民健康保険税条例の一部改正
 新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が著しく減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免申請に関する改正。

▼ 豊頃町介護保険条例の一部改正
 所得の少ない第1号被保険者に対する、今年度の介護保険料の軽減措置並びに、新型コロナウイルス感染症の影響による、介護保険料の減免措置の適用を延長するため所要の改正を行うもの。

【 その 他 の 議 案 】

▼ 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定
 公共的施設（大津地域増圧ポンプ場）の整備事業に対し、財政上の特別措置が図られることから新たに計画を策定するもの。

▼ 物品の取得
 除雪ドーザー1台を購入。金額は2,442万円。納入期限は令和4年12月27日（火）。

▼ 北海道市町村総合事務組合規約の変更
 北海道市町村職員退職手当組

▼ 北海道市町村職員退職手当組規約の変更

▼ 北海道町村議会議員公務災害補償等組規約の変更
 各組合の組織構成に「上川中部福祉事務組合」を加えるもの。

主な審議内容

補正予算

Q 小笠原議員 ドライブレコーダー購入の予算が計上されているが、何台の車に取り付けるのか。また、スクールバス等には取り付けられているのか。
 A 職員が勤務で使用する公用車18台分を計上している。なお、スクールバスについてはすでに取り付けている。

Q 小笠原議員 町内でヨ一ネ病が発生したと報告があったが、十勝管内ではどのくらいの発生があったか。
 A 令和3年に発生した分であるが、北海道内で845頭、そのうち十勝管内では254頭発生しており、全体の約3割が十勝管内で発生している。

Q 小笠原議員 今後のヨ一ネ病検査の予定は。
 A 今年4月に10農場、1,921頭検査を実施しており、7月に17農場、1,800頭を検査する予定となっている。また、来年度には15農場、3,500頭を検査する予定となっている。

Q 穴崎議員 トンケシ緊急避難場所避難路改良工事について、勾配及び道路幅をどのように改良するのか。
 A 現在の勾配は約20%と急勾配である（役場前の道路が約8%）ため、勾配を約10%程度に改良することを想定している。また、道路幅は4メートル、路肩を入れて5メートルを想定しており、車が交差できるよう回避スペースを2か所ほど設置する予定である。

Q 石田議員 民間事業者によるトンケシ高台での事業の進捗状況は。
 A 4月から施設の建設を始めており、8月までには完成するというところで聞いている。整備の完了後、事業者との防災協定等の締結を検討したい。

Q 穴崎議員 本町における住民税非課税世帯への臨時特別給付金事務のチェック体制は。
 A 給付金事務は福祉課福祉係で対応しており、複数人でのチェック体制で事務に努めている。

Q 坂回議員 二酸化炭素排出量等調査業務はどのような方法でいつ調査するのか。
 A 公的な統計等によるデータを基に、環境省のマニュアルや各種算定ツールを用いて算出する。調査は補正予算の議決後にすぐ執行を行う。

Q 穴崎議員 トンケシ避難場所へは港を迂回しなければいけないが、今後の整備予定は。
 A 地域住民の話からも、港を迂回しながら海へ向かって避難することが現実的ではないことは承知している。トンケシ避難場所と港の間の道路を何とか整備できないか、各関係機関との調整を含め、避難時の不安を払拭できるように検討を進めていく。



一般質問



岩井 明 議員

生活保護に対する 偏見等について

Q 「健康で文化的な最低限度の生活を営む」ためのスタートラインを保障する生活保護制度は、偏見を抱く対象ではなく、この制度が十分に機能することが、世の中に公正や寛容をもたらすものだと考えるが、町長の見解は。

A 按田町長
生活保護は、憲法が保障する生存権に基づく制度として、「最後のセーフティネット」と呼ばれるものである。

受け取る年金がわずかである、病気や障がい働けない、ひとり

親家庭で収入が少ないといった、各家庭の事情により生活が困難な場合において、憲法で定める「健康で文化的な最低限度の生活」を保障する制度である。
生活保護に対する負のイメージが、社会において偏見として見られている状況が現状であるならば、非常に憂慮すべきものと思う。

Q 自治体は、住民の命と暮らし、そして健康を守るという視点に立って、生活保護を受ける方たちに、心にわだかまりや窮屈なことが無いような対応をしていただきたいと考えるが、町長の見解は。

A 按田町長
最低限の生活を継続することが大変にもかかわらず、生活保護を受給することにより、生活保護を受ける方の中には、生活保護制度をよくわかっていない中での保護申請という形で、昨今の不正受給の話がある中、周囲で正当な生活保護受給者に対しても偏見等があり、なかなか踏み切れないという方も多くいるのかと推測している。
本町においては関係機関や民生委員、児童委員との連携などを今後も深めていきながら、相談支援体制をしっかりと取っていききたい。

第2回臨時会 (5月13日開催)

▼ 専決処分の承認
○令和3年度一般会計補正予算(第13号)

歳入予算における地方譲与税や各種交付金等の額の確定や、歳出予算における道営農地整備事業負担金等を精査するなど、7,908万5千円を追加し、予算総額を55億2,828万5千円とする補正予算を専決。原案のとおり承認しました。

※専決処分とは
議会を開く時間的余裕がないときなど、議会にかわって町長が処分(決定)すること。

- ▼ 豊頃町職員の給与に関する条例の一部改正
- ▼ 豊頃町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- ▼ 豊頃町特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正
- 令和3年度人事院勧告に基づく国家公務員給与法の改正に伴う町職員、町特別職、議会議員

の期末手当支給率の変更。
原案のとおり可決しました。

▼ 豊頃町税条例等の一部改正
個人住民税における住宅借入金等特別税額控除の延長など、地方税法等の一部を改正する法律等の公布に伴う改正。
原案のとおり可決しました。

▼ 豊頃町国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険制度における被保険者間の保険税負担の公平の確保及び中・低所得層の保険税の負担軽減を図るため、地方税法施行令の一部を改正する政令の公布に伴う改正。
原案のとおり可決しました。

◎ 会議の詳細は会議録で ◎

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録しています。
ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。
また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222
FAX 015-574-3955
(議会事務局直通)

◎ ◎

総務文教・産業厚生
常任委員会レポート

1 調査の経過と結果

(1) 富山県滑川市の概要

本町と昭和59年（1984年）に姉妹都市の締結をしている滑川市は、人口約3万3,000人、面積54・62平方キロメートル、富山湾に面した田園都市であり、江戸から明治時代には「越中富山の薬売り」で知られる売薬業の拠点の一つとして大きく発展し、現在でも市内には売薬店を営む業者が多く、近年では大型企業の立地が相次ぐなど、工業都市として発展している。また、世界的にも有名なホタルイカの産卵地であり、「ホタルイカ群遊海面」は国指定特別天然記念物に指定されている。



滑川市長らを表敬訪問

総務文教常任委員会（小笠原茂人委員長）と産業厚生常任委員会（坂口尚示委員長）は、4月18日から19日にかけて、コロナ禍における富山県滑川市において、ほたるいか海上観光などの観光事業によるまちづくりについて、総務文教常任委員会及び産業厚生常任委員会の合同委員会として姉妹都市交流を兼ねて調査を実施しました。

(2) 滑川市における観光事業について

毎年3月から5月にかけて、ホタルイカが目の前で発光する様子を目にすることができ「ほたるいか海上観光」や「ほたるいかミュージアム」に全国から多くの観光客が訪問している。



ほたるいか漁のようす

その他、標高300メートルの台地に広がる自然豊かな公園の「東福寺野自然公園」、テニスコートと天然温泉の「みのわテニス村」は、多くの若者や家族連れで賑わい、夏の海の勇壮な民族行事「滑川のネブタ流し」、提灯と松明を持って踊る軽快なリズムの「新川

古代神」は、情緒豊かな夏の風物詩となっている。



東福寺野自然公園

また、富山県内唯一の正三尺玉の打ち上げが行われる「ふるさと龍宮まつり」には毎年多くの見物客が訪れている。

(3) コロナ禍における滑川市の観光事業に対する支援

滑川市において新型コロナウイルス感染症の影響により減少した観光客を再度呼び込み活気を取り戻すため「観光事業等デジタル化支援事業」を実施し、滑川市内で観光に関する事業を営む中小企業・小規模企業者・個人事業主が、予約システム・通信販売サイト等ホームページ作成・改修など、今後

の観光事業活動のデジタル化に資する事業を実施する事業者に対し1事業者あたり10万円を上限に令和3年度支援を実施している。

2 調査を終えて

今回の調査では、姉妹都市である富山県滑川市を訪問し、コロナ禍における観光事業等によるまちづくりについて、説明聴取及び現地視察を通して調査した。

「ほたるいか海上観光」には多くの観光客が参加しており、受付から案内、ライフジャケットの着用といった安全対策などの説明にいたる業務を滑川市若手職員が職員研修を兼ねて担っており、その中でマスク着用・手指消毒の徹底、ソーシャルディスタンスの確保など十分な感染症対策を行って実施していた。名産であるほたるいかを使用した土産品やグッズ等も充実しており、地元経済が潤うサイクルが形成されていた。

地元企業の技術支援・協力を受け建設され、平成30年1月にオープンした「滑川市屋内運動場（K



ENKO DOME)は、野球やフットサル、ペタンクといったスポーツやその他屋内運動場として、市民が多目的に使用できるように整備されていた。



滑川市屋内運動場 (KENKO DOME)

また、滑川市の歴史が年代ごとに分かるような展示物が多く所蔵されている「滑川市立博物館」や、県内唯一の形と規模を誇るふわふわドームや国際パークゴルフ協会公認コースでのパークゴルフなどが楽しめる「東福寺野自然公園」においても徹底した新型コロナウイルス対策を実施し、今年度以降はコロナ禍であるが、以前のように子どもから高齢者までの幅広い年齢層が安心して利用できる体制が整っていた。



滑川市立博物館を見学

本町の観光資源としては、町のシンボルである「はるにれの木」をはじめ、平成28年から冬の北海道を代表する観光コンテンツとして整備を進めている「ジューエリーアイス」、地元産物や土産品を取り扱う「とよころ物産直売所」、町の観光拠点施設「ココロコテラス」、キャンプやパークゴルフが楽しめる「茂岩山自然公園」などがあるが、コロナ禍においては、外出自粛により豊頃町への来訪者が減少したことに伴う物産の売上や施設の利用者が減少するといった大きな影響を受けている。

今回の所管事務調査を契機に本町の現況を見直すと共に、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、現在町で進めている防災に関する

整備を十分に行い、観光客が安心して豊頃町へ訪れることができるように事業を進めるべきとの意見が出されていた。

また、本町の観光事業の多くが通過型観光であることから、地元への経済効果が少ないことがかねてより指摘されている。今後の課題として、通過型観光から中・長期滞在型の魅力ある観光行政を積極的に推進すべきであり、地元産物を活かした特産品や体験型のツアー商品の開発といった、地元の経済が活性化するようなサイクルの構築が今後の課題であるとの意見も出された。



東福寺野自然公園内 時計台前にて

北海道町村議会議長会 自治功労者表彰

6月14日(火)に開催された北海道町村議会議長会第73回定期総会において、藤田博規議長が自治功労者表彰を受賞しました。

藤田議長は、豊頃町議会議長として長年にわたり地方自治の振興発展に寄与貢献されたことから表彰されたものであり、定期総会において受賞者を代表して、謝辞を述べられました。



受賞者を代表し謝辞を述べる藤田議長



意見書

- ① 森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- ② 食料安全保障の強化を図る新たな国の予算確保と国民への理解醸成を図る意見書
- ③ 2023年度地方財政の充実・強化に関する意見書
- ④ 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
- ⑤ 2022年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

①、②、⑤は産業厚生常任委員会、③、④は総務文教常任委員会にて審議した意見書案が、各常任委員会委員長の坂口尚示議員、小笠原茂人議員から提案説明され、いずれも原案どおり可決し、関係省庁・機関に提出されました。



提案説明する坂口尚示議員（左）と小笠原茂人議員（右）



議会を傍聴した
大津小学校5～6年生児童

第2回定例会の2日目（6月13日）に一般質問が行われ、議員と町長との議論の様子を、大津小学校の5年生及び6年生の児童3名と引率の先生1名が傍聴しました。

児童からは、「こんなに難しいことを話し合っているのかと思った。」「話を聞いている人に分かりやすいように説明することが大事だと感じた。」「わからない所もたくさんあったが、傍聴が出来ていい経験になった。」といった感想がありました。

大津小学校児童が 議会を傍聴

議会日誌

- 〔6月〕
 - 3日 議会運営委員会
 - 8日 議員全員協議会
 - 8日 第2回定例会（1日目）
（補正予算、条例改正等）
 - 13日 総務文教常任委員会
 - 13日 産業厚生常任委員会
 - 13日 第2回定例会（2日目）
（一般質問、意見書案ほか）
 - 14日 議会広報特別委員会
 - 14日 北海道町村議会議長会定期総会
議長・事務局長研修会
（～15日）～札幌市
- 〔7月〕
 - 1日 議会広報特別委員会
 - 5日 北海道町村議会議長会主催議員研修会（～7日）～札幌市ほか
 - 27日 相馬市議会新政会による行政視察
 - 29日 総務文教常任委員会所管事務調査
- ◎今後の予定
 - 〔8月〕
 - 1日 一部事務組合議会臨時会
～帯広市
 - 22日 北海道町村議会議長会議会広報研修会（～23日）～札幌市
 - 24日 産業厚生常任委員会所管事務調査
 - 〔9月〕
 - 5日 議会運営委員会
 - 8日 第3回定例会（1日目）
（条例改正、補正予算等）
 - 13日 総務文教常任委員会
 - 13日 産業厚生常任委員会
 - 13日 第3回定例会（2日目）
（決算審査）
 - 15日 第3回定例会（3日目）
（一般質問、意見書案ほか）
 - 議会広報特別委員会